

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 7 章 反応槽用送風機設備工事
第1節 送風機設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 直結式 多段ターボブロワ

1. 駆動装置

- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 油面計は見やすい位置にあるか。(個別給油の場合)
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパン)(個別給油の場合)
- ☐ 排油バルブにプラグ(赤色)またはキャップ(赤色)はついているか。(個別給油の場合)
- ☐ 油タンクの給油量は適量か。(個別給油の場合)
- ☐ 油圧配管の酸洗及びフラッシングは完了したか。
- ☐ 振動部のボルト、ナットに廻り止め措置はなされているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ 圧力計器類は操作盤・管理動線より見やすい位置にあるか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 騒音計算(敷地境界)の検討資料を作成したか。
- ☐ 官公庁への届出書類はあるか。(消防、騒音、振動)
- ☐ キャピラリーチューブの接続は確認したか。また、交換可能か。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 7 章 反応槽用送風機設備工事
第1節 送風機設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : ロータリ(ルーツ式)ブロワ

1. 駆動装置

- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ ベルトの緊張度を正しく調整したか。(ベルト仕様を記入したか)
- ☐ 油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 軸受及び歯車の給油量は適量か。
- ☐ 防音カバーの点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
- ☐ 振動部のボルト、ナットに廻り止め措置はなされているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 騒音計算(敷地境界)の検討資料を作成したか。
- ☐ 騒音値の実測をしたか。
- ☐ 官公庁への届出書類はあるか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 7 章 反応槽用送風機設備工事
第1節 送風機設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 逆止弁(空気用)

1. 本体

- ☐ 流れ方向は適切か。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは、完了したか。

2. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 7 章 反応槽用送風機設備工事
第1節 送風機設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 電動仕切弁

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 開度計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 電動一手動の切替は確実にできるか。
- ☐ 手動ハンドルの操作に支障はないか。
- ☐ バルコン部にサポートを取付けたか。
- ☐ 開閉リミット調整を行ったか。
- ☐ 開閉方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 流れ方向は適切か。
- ☐ 軸受部ドレン配管は取り付けられているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 開閉ハンドルの開閉矢印に色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(2床式の場合)
- ☐ 制御盤のケーブル引込み部のシールは十分か。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 7 章 反応槽用送風機設備工事 第1節 送風機設備(ブロワ用弁類)	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : バタフライ弁

1. 駆動装置

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	開度計は見やすい位置にあるか。
☐	電動一手動の切替は確実にできるか。
☐	手動ハンドルの操作に支障はないか。
☐	バルコン部にサポートを取付けたか。
☐	開閉リミット調整をおこなったか。
☐	開閉方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	流れ方向は適切か。
☐	取付ボルトの増し締めは完了したか。

3. 塗装

☐	水上部は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。
☐	開閉ハンドルの開閉矢印に色塗りしたか。

4. その他

☐	施工管理記録は作成したか。(2床式の場合)
☐	制御盤のケーブル引込み部のシールは十分か。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 7 章 反応槽用送風機設備工事 第1節 送風機設備(ブロワの補助機械類)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">点検実施日</td> <td style="width: 20%;">平成</td> <td style="width: 20%;">年</td> <td style="width: 20%;">月</td> <td style="width: 20%;">日</td> </tr> <tr> <td>点検者名</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">印</td> </tr> <tr> <td>施工場所</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>	点検実施日	平成	年	月	日	点検者名	印				施工場所				
点検実施日	平成	年	月	日												
点検者名	印															
施工場所																

機 器 名 称 : 冷却水ポンプ(渦巻ポンプ)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 各ドレン配管(ケーシングドレン等)は側溝まで配管したか。
- ☐ 振動部のボルト、ナットに廻り止め措置はなされているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(共通床盤含む)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部には指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 7 章 反応槽用送風機設備工事
第1節 送風機設備(ブロワの補助機械類)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 冷却水ポンプ(水中ポンプ)

1. 本体

- ☐ 吊り上げ用チェーン及び動力ケーブルの掛け金具(SUS304)を取り付けたか。
- ☐ 吊り上げチェーンシャックル部は緩み止めの措置をしたか。
- ☐ 端子箱の高さは適正か。(原則として床上1.2m以上)
- ☐ 端子箱または壁面等にポンプの銘板を取り付けているか。
- ☐ 端子箱内の防湿のためのパテ詰め措置はできているか。
- ☐ ケーブルの張りは、適正か。
- ☐ 余長ケーブルは切断または強固に結束固定してあるか。
- ☐ 余長ケーブルの長さはピットから取出すのに十分か。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。
- ☐ 取付、取外しの作業がスムーズにできるか。
- ☐ 着脱装置付水中汚水ポンプの吊上チェーンの落下防止措置を施したか。

2. 塗装

- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 7 章 反応槽用送風機設備工事
第1節 送風機設備(ブロワの補助機械類)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 冷却塔

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ ドレン管、ドレン弁は取り付けられているか。
- ☐ 冷却タンクと配管との接続部には可とう管がついているか、また適切なサポートがあるか。
- ☐ 点検用スペースを確保したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)

3. 塗装

- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 7 章 反応槽用送風機設備工事
第1節 送風機設備(ブロワの補助機械類)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 集中強制潤滑設備(潤滑油タンク)

1. 本体

- ☐ 油面計は見やすい位置にあるか。(停止時、運転時のレベル表示)
- ☐ ドレン管、ドレン弁は取り付けられているか。
- ☐ タンクと配管との接続部には可とう管がついているか、また適切なサポートがあるか。
- ☐ タンクの周りに防油堤があるか。
- ☐ 防油堤内の排水柵は油が流出しない構造の柵となっているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置をしたか)

2. 塗装

- ☐ タンクは指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 官公庁への届出書類はあるか。(消防)
- ☐ 消防届出関連の表示板に必要事項が記入されているか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 7 章 反応槽用送風機設備工事 第1節 送風機設備(ブロワの補助機械類)	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 集中強制潤滑設備(潤滑油ポンプ)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 防液堤外に設置する場合、ポンプ下に受皿(ドレン弁付)を設けたか。
- ☐ 振動部のボルト、ナットに廻り止め措置はなされているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)

第 7 章 反応槽用送風機設備工事

第1節 送風機設備(ブロワの補助機械類)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 集中強制潤滑設備(潤滑油冷却器)

1. 本体



取付ボルトの増し締めは完了したか。

2. 塗装



機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他



清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 7 章 反応槽用送風機設備工事
第1節 送風機設備(ブロワの補助機械類)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 集中強制潤滑設備(潤滑油ヘッドタンク)

1. 本体

- ☐ 油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ ドレン管、ドレン弁は取り付けられているか。
- ☐ タンクと配管との接続部には可とう管がついているか、また適切なサポートがあるか。
- ☐ タンクの周りに防油堤があるか。
- ☐ 防油堤内の排水柵は油が流出しない構造の柵となっているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

2. 塗装

- ☐ 水上部SS材は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 官公庁への届出書類はあるか。(消防)
- ☐ 消防届出関連の表示板に必要事項が記入されているか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 7 章 反応槽用送風機設備工事 第1節 送風機設備(ブロワの補助機械類)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">点検実施日</td> <td style="width: 20%;">平成</td> <td style="width: 20%;">年</td> <td style="width: 20%;">月</td> <td style="width: 20%;">日</td> </tr> <tr> <td>点検者名</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">印</td> </tr> <tr> <td>施工場所</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>	点検実施日	平成	年	月	日	点検者名	印				施工場所				
点検実施日	平成	年	月	日												
点検者名	印															
施工場所																

機 器 名 称 : 自動空気ろ過装置(乾式自動巻取型)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 駆動チェーンの緊張度を正しく調整したか。
- ☐ チェーンにグリースを塗布したか。
- ☐ 本体フランジは歪みなく壁に取り付いているか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 制御盤のケーブル引込み部のシールは十分か。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 7 章 反応槽用送風機設備工事
第1節 送風機設備(ブロワの補助機械類)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 自動空気ろ過装置(乾式自動清掃型)

1. 本体

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。

2. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 7 章 反応槽用送風機設備工事 第1節 送風機設備(電動機設備)	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 高圧電動機

1. 本体

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。(M単)
☐	取付ボルトの増し締めは完了したか。

2. 塗装

☐	水上部は指定色が塗布されているか。
☐	回転方向の矢印は色塗りしたか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 7 章 反応槽用送風機設備工事
第1節 送風機設備(電動機設備)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 低圧電動機

1. 本体

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。(M単)
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。

2. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第8章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事 第1節 沈殿池及び沈澄池用汚泥かき寄せ設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 ： 汚泥かき寄せ機(ステンレス鋼製かき寄せチェーン)

1. 駆動装置

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	油面計は見やすい位置にあるか。
☐	排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
☐	排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
☐	減速機の給油量は適量か。
☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	駆動チェーンおよび掻寄せ用チェーンの緊張度を正しく調整したか。
☐	チェーンにグリースを塗布したか。
☐	集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
☐	給油ポンプに行き先表示をしたか。
☐	緊張装置のテークアップ代に余裕はあるか。
☐	レール継目は、平滑にしたか
☐	スキマへのスカムの流入を妨げるものはないか。
☐	スカムスキマとのノッチレベル・位置関係は良いか。
☐	テークアップに緩み防止措置はされているか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)
☐	フライト底面と池底の隙間は適正か。(1池当たり1本以上の底かきフライトがあるか。)
☐	中間軸(アイドラ軸・案内軸)取付け位置と越流堰水位との関係は適正か
☐	運転を行いフライトがガイドレールおよびブラケット、駆動チェーン、流出水路堰等に干渉しないか確認する。

3. 塗装

☐	水上部は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。
☐	回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

☐	据付施工管理記録は作成したか。
☐	駆動装置カバー内は、水溜まり防止用モルタル仕上げを行ったか。
☐	かき寄せチェーン断検出装置(左右一対タイプ)の検出板が左右ずれていないか。
☐	池底コンクリートの仕上げ面に剥離はないか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事
第1節 沈殿池及び沈澄池用汚泥かき寄せ設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 ： 汚泥かき寄せ機(合成樹脂製かき寄せチェーン)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグ(赤色塗装済み)またはキャップ(赤色塗装済み)はついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 駆動チェーンおよび掻寄せ用チェーンの緊張度を正しく調整したか。
- ☐ チェーンにグリースを塗布したか。
- ☐ 緊張装置のテークアップ代に余裕はあるか。
- ☐ レール継目は、平滑に仕上げたか。
- ☐ スキマへのスカムの流入を妨げるものはないか。
- ☐ スカムスキマとのノッチレベル・位置関係は良いか。
- ☐ テークアップに緩み防止措置はされているか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)
- ☐ フライト底面と池底の隙間は適正か。(1池当たり1本以上の底かきフライトがあるか。)
- ☐ 通水時にフライトが浮上しないか。
- ☐ 中間軸(アイドラ軸・案内軸)取付け位置と越流堰水位との関係は適正か
- ☐ 運転を行いフライトがガイドレールおよびブラケット、駆動チェーン、流出水路堰等に干渉しないか確認する。

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 据付施工管理記録は作成したか。
- ☐ 駆動装置カバー内は、水溜まり防止用モルタル仕上げを行ったか。
- ☐ かき寄せチェーン断検出装置(左右一対タイプ)の検出板が左右ずれていないか。
- ☐ 池底コンクリートの仕上げ面に剥離はないか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事 第1節 沈殿池及び沈澄池用汚泥かき寄せ設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 ： 矩形池用手動式パイプスキマ

1. 本体

☐	集中給油装置式のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
☐	手動操作にてスカム除去装置を全閉にし、ストッパーボルトの位置が適切か。
☐	スピンドル止めナットに緩み止め措置はされているか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)
☐	前転限界、後転限界迄の操作でスムーズな回転となっているか。

2. 塗装

☐	水上部は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事 第1節 沈殿池及び沈澄池用汚泥かき寄せ設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 ： 矩形池用電動式パイプスキマ

1. 駆動装置

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	開度計は見やすい位置にあるか。
☐	開度計の指針は全開、全閉位置で正しく調整してあるか。
☐	手動でスカムの排出が可能か。
☐	開閉方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
☐	手動操作にてスカム除去装置を全閉にし、ストッパーボルトの位置が適切か。
☐	スピンドル止めナットに緩み止め措置はされているか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

☐	水上部は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。

4. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事
第1節 沈殿池及び沈澄池用汚泥かき寄せ設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 ： 無動力式スカム除去装置

1. 本体

- ☐ 汚泥かき寄せ機のフライト走行に連動し、スカム除去装置が駆動するか。
- ☐ 汚泥かき寄せ機の逆転時に支障が無いか。
- ☐ 手動でスカムの排出が可能か。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

2. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。
- ☐ 水位(水平)設定は確認したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)

第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事

第2節 沈殿池汚泥抜取設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 汚泥抜取配管(偏心構造弁)

1. 本体

☐

流れ方向は適切か。

☐

分解点検は容易か。(ルーズフランジ短管が設けられているか。)

☐

取付ボルトの増し締めは、完了したか。

2. 塗装

☐

水上部は指定色が塗布されているか。

☐

名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

☐

メンテ用のドレン管を側溝まで設けているか。

☐

清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事 第2節 沈殿池汚泥採取設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 沈殿池汚泥ポンプ(スクルー式うず巻ポンプ)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ ベルトの緊張度を正しく調整したか。(Vベルト仕様を記入したか)
- ☐ 油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ ポンプの給油量は適量か。
- ☐ 各ドレン配管(ケーシングドレン等)は側溝まで配管したか。
- ☐ サンプリング配管(25A 以上)を設け、側溝まで配管したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(2床式の場合)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事 第3節 沈澄池汚泥抜取設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称：

1. 本体 沈澄池汚泥抜取装置(越流弁による抜取方式)

- ☐ スピンドルネジ部にグリースを塗布したか。
- ☐ 異種金属の接続部分は電食対策を施しているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。

2. 塗装

- ☐ 水中部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。(必要時)
- ☐ 開閉ハンドルの開閉矢印に色塗りしたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ エアーリフト配管を設けている箇所は振動(落下)対策を講じたか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事 第3節 沈澄池汚泥抜取設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 沈澄池汚泥抜取装置(直接ポンプ抜取方式)偏心構造弁

1. 駆動装置

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	開度計は見やすい位置にあるか。
☐	電動→手動の切換は確実にできるか。
☐	手動ハンドルの操作に支障はないか。
☐	バルコン部にサポートを取付けたか。(必要時)
☐	開閉方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	流れ方向は適切か。
☐	取付ボルトの増し締めは完了したか。

3. 塗装

☐	水中部は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。(必要時)
☐	開閉ハンドルの開閉矢印に色塗りしたか。

3. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事 第3節 沈澄池汚泥採取設備	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">点検実施日</td> <td style="width: 20%;">平成</td> <td style="width: 20%;">年</td> <td style="width: 20%;">月</td> <td style="width: 20%;">日</td> </tr> <tr> <td>点検者名</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">印</td> </tr> <tr> <td>施工場所</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>	点検実施日	平成	年	月	日	点検者名	印				施工場所				
点検実施日	平成	年	月	日												
点検者名	印															
施工場所																

機 器 名 称 : 返送汚泥ポンプ(両吸込渦巻ポンプ)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は、確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグ(赤色)またはキャップ(赤色)はついているか。
- ☐ ポンプの給油量は適量か。
- ☐ 各ドレン・サンプリング配管25A(ケーシングドレン等)は側溝まで配管したか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断部の面取り処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事 第3節 沈澄池汚泥抜取設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 余剰汚泥ポンプ(スクリー式うず巻ポンプ)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ ベルトの緊張度を正しく調整したか。
- ☐ 油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグ(赤色)またはキャップ(赤色)はついているか。
- ☐ ポンプの給油量は適量か。
- ☐ 各ドレン配管25A(ケーシングドレン等)は側溝まで配管したか。
- ☐ サンプリング配管(25A 以上)を設け、側溝まで配管したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ 基礎・共通床盤の モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(2床式の場合)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事
第4節 反応槽設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 散気設備

1. 本体

☐	散気板の緩みはないか。
☐	散気板の、発泡に有害な物(モルタル、泥、塗料等)が付着していないか。
☐	散気板ホルダのゴムパッキンがはみ出していないか。
☐	散気板の水平度・トルク管理(2回以上)は適正か。
☐	ライザー管、ヘッダー管の取付ボルトの増し締めは完了したか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)
☐	壁貫通部のモルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	支持具(水中部)・散気ホルダーは酸洗いしたか

2. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	ライザー管用元バルブの操作性は良いか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事
第4節 反応槽設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 水中機械式かくはん機

1. 本体

- ☐ 吊り上げ用チェーン2箇所及び動力ケーブルの掛け金具(SUS304)を各々取り付けたか
- ☐ ケーブルの張りは、適正か。
- ☐ 余長ケーブルは切断または強固に結束固定してあるか。
- ☐ 端子箱または壁面等にポンプの副銘板を取り付けているか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。
- ☐ 水中機械攪拌機の吊上チェーンの落下防止措置(アイボルト式)を施したか。

2. 塗装

- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事
第4節 反応槽設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 水上機械式かくはん機

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルに支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取外しスペースは確保しているか。
- ☐ 油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグ(赤色)又はキャップ(赤色)はついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。
- ☐ 駆動軸のフランジはバブルナットで回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事 第5節 付帯設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 配管廊内排水ポンプ(着脱式水中モータポンプ)

1. 本体

☐	吊り上げ用チェーン2箇所及び動力ケーブルの掛け金具(SUS304)を各々取り付けたか
☐	吊り上げチェーンシャックル部は緩み止めの措置をしたか。
☐	端子箱の高さは適正か。(原則として床上1.2m以上で結露壁には直接取付けない。)
☐	端子箱または壁面等にポンプの副銘板を取り付けているか。
☐	端子箱内の防湿のためのパテ詰め措置はできているか。
☐	P本体に チェーン及びケーブルが接触せず張りは、適正か。
☐	余長ケーブルは切断または強固に結束固定してあるか。
☐	余長ケーブルの長さはピットから取出すのに十分か。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)
☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。
☐	運転を行い着脱部より漏れは無いか。(水面の渦で確認)
☐	着脱式水中モータポンプの 取付、取外しの作業がスムーズにできるか。
☐	着脱装置付水中汚水ポンプの吊上チェーンの落下防止措置(アイボルト式)を施したか。

2. 塗装

☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。
--------------------------	-------------------

3. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 8 章 沈殿池、反応槽、沈澄池設備工事
第6節 ゲート設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 反応槽用流量調整ゲート

1. 本体

- ☐ スピンドルネジ部にグリースを塗布したか。
- ☐ 止水面のスキミ調整を行ったか。
- ☐ ハンドルの 回転方向と扉体の作動を確認したか。
- ☐ 水位設定調整は確認したか。
- ☐ 操作運転を行い駆動部から異常音がないか。(M単)
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。

2. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 回転方向の矢印は色(赤色)塗りしたか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。